

この度の令和8年熊本地震、並びに千葉県で発生した豪雨災害により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

いつも本校の教育に温かい御声援をいただき、誠にありがとうございます。今年の暑さ厳しい夏休みも高等部の夏期特別講習や教職員の校内外における研修等、にぎやかな日々が続きました。皆様いかがお過ごしだったでしょうか。

7月に開催した第1回学校運営協議会で、「旅行先では異文化との出会いを楽しめるのに、なぜ身近な人との違いには戸惑いや嫌悪感を抱いてしまうのだろう」という問いに出会いました。私達は旅行で韓国やシンガポールやイギリスを訪れたとき、「日本と違う。間違っている。」とは思わず、「へえ、そういうやり方なんだ。」と受け止めることができます。しかし身近な人には、知らず知らずのうちに「自分と同じであってほしい。」と期待してしまうのかもしれませんが。学校で子ども達を見ていると、考え方や得意なことの違いが、助け合いや新しい発見につながる場面がたくさんあります。子ども達の姿から、違いは困ることだけではなく、みんなを豊かにするものなのだと感じています。

悲しい事件から10年が経過しました。津久井やまゆり園で起きた事件は、障害のある人の命や尊厳を否定する考えが生んだ、決して忘れてはならない出来事です。事件後、神奈川県特別支援学校長会は、「障害者である前に一人の人間であり一つの人格であることを深く心に刻むべきである」「誰もが支え合って生きる共生社会をつくっていこう」と県民に呼び掛けました。この声明に示された思いは、私達特別支援教育に携わる者にとっても共有すべき大切な願いです。

本校は、子ども達一人一人の存在そのものに価値があり、誰もがかけがえのない存在であるという信念のもと教育活動を進めています。違いは、決して乗り越えるべき壁ではなく、新しい学びや気づきを生み出す力であり、互いを豊かにする大切な資源です。

私達は、「違いをよさに変える」学校をつくります。一人一人の強みや可能性を見つけ、それを伸ばし合うなかで、子ども達が自分らしく輝ける学校づくりを進めてまいります。どの子も大切にされ、安心して学び、仲間とともに成長できる学校であり続けます。

そして、子ども達とともに違いを力に変え、誰もが尊重される共生社会を創り出していきます。それが本校の使命であり、私達の決意です。

校長 飯田 英美子

高等部「ふれあい・心のステーション」

今年度も大丸京都店 6階イベントホールにて9月9日(水)、10日(木)に、製品販売「ふれあい・心のステーション」が開催されます。

本校では作業学習で製作した製品を高等部職業キャリアコース2、3年生が販売します。

6月に実施された大丸京都店様による接客研修で学んだことを販売に参加する皆で確認し、おもてなしの心、そして笑顔での接客を目指して日々練習に励んできました。

今年度は製品のPRコーナー・アンテナショップもあり、各校の生徒が製品を紹介します。

本校は9月10日(木)11:00~15:30に販売します。是非、お立ちよりください。笑顔でお待ちしております。

